

れい わ ねん ど
令和8年度

きゅう ぞう えん せ こう かん り ぎ じゅつ けん てい
2級造園施工管理技術検定
だいいちじ けん てい ぜん き し けん もん だいい
第一次検定(前期)試験問題

つぎ ちゅうい よ かいとう
次の注意をよく読んでから解答してください。

ちゅうい
【注意】

1. これは第一次検定の試験問題です。表紙とも10枚あります。

HBの鉛筆又はシャープペンシルで、解答用紙(マークシート)に試験地・氏名・受験番号を記入してください。

受験番号は該当する数字をぬりつぶしてください。(万年筆・ボールペンの使用は不可)

2. 問題は全て必須です。40問題全部を解答してください。

問題番号	解答記入欄			
問題 1	①	②	③	④
問題 2	①	②	③	④
問題 10	①	②	③	④

かいとうようし
解答用紙は

となっていますから、

もんだいばんごう たいおう かいとう きにゅうらん せいかい おも すうじ
問題番号に対応する解答記入欄の正解と思う数字をぬりつぶしてください。

もんだい せいかい ひと ふた いじょう とくてん
問題1～36については正解が一つしかないので、二つ以上ぬりつぶすと得点になりません。

もんだい せいかい すべ せいかい すうじ すべ
問題37～40については正解を全てぬりつぶしてください。正解の数字を全てぬりつぶしてな

いものや、正解でない数字までぬりつぶしてあるものは得点になりません。

かいとう かた かいとうようし かいとう きにゅうれい かた さんしょう
解答のぬりつぶし方は、解答用紙の解答記入例(ぬりつぶし方)を参照してください。

かいとう ていせい ばあい け ていせい
解答を訂正する場合は、消しゴムできれいに消してから訂正してください。

3. 試験問題の漢字のふりがなは、問題文の内容に影響を与えないものとします。

4. 試験問題の余白は、計算等に使用してもさしつかえありません。

5. 解答用紙は、試験監督者に直接提出してから退室してください。

かいとうようし ばあい も かけ
解答用紙は、いかなる場合も持ち帰りできません。

6. 試験問題は、試験終了時刻(12時40分)まで在席した方で、希望者に限り持ち帰りを認めます。途中退室者は、持ち帰りできません。

問題 1 ~ 36 については正解番号を一つぬりつぶしてください。

〔問題 1〕 日本庭園における「庭園名」と「庭園様式」の組合せとして、**適当なもの**はどれか。

- | | ていえんめい
(庭園名) | ていえんようしき
(庭園様式) |
|-----|---------------------------|--------------------------|
| (1) | こいしかわこうらくえん
小石川後楽園 | ちせんかいゆうしきていえん
池泉回遊式庭園 |
| (2) | てんりゅうじていえん
天龍寺庭園 | じょうどしきていえん
浄土式庭園 |
| (3) | しらみずあみだどうていえん
白水阿弥陀堂庭園 | ちやにわ
茶庭 |
| (4) | しゅくけいえん
縮景園 | かれざんすいしきていえん
枯山水式庭園 |

〔問題 2〕 土壌に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 土壌粒子の粒径は、シルトに比べ、粘土の方が小さい。
- (2) 土壌中の有機物は、土壌微生物の働きによって、植物の養分として利用できるようになる。
- (3) 土壌中の水分のうち、植物に容易に吸収されるのは、毛管水である。
- (4) 土壌の色は、一般に有機物が多いほど赤味を増す。

〔問題 3〕 土壌改良材に関する次の(イ)、(ロ)の記述について、正しいものは「正」、誤っているものは「誤」として、**適当な組合せ**はどれか。

- (イ) 黒曜石パーライトは、無機質系の土壌改良材で、土壌の透水性を改善する効果がある。
- (ロ) パーク堆肥は、樹皮を主原料とした堆肥であり、土壌を膨軟化する効果がある。

- | | (イ) | (ロ) |
|-----|-----|-----|
| (1) | 正 | 正 |
| (2) | 正 | 誤 |
| (3) | 誤 | 正 |
| (4) | 誤 | 誤 |

〔問題〕 4) 植物に必要な肥料に関する次の記述の (A), (B) に当てはまる語句の組合せとして適切なものはどれか。

(A) は、一般に葉肥ともいわれ、葉緑素をつくり、茎や葉の生育を促進する。

リン酸肥料は、一般に (B) ともいわれ、欠乏すると葉は暗緑色となり、花芽分化や開花が悪くなる。

- | | (A) | (B) |
|-----|------|-----|
| (1) | 窒素肥料 | 実肥 |
| (2) | 窒素肥料 | 根肥 |
| (3) | カリ肥料 | 実肥 |
| (4) | カリ肥料 | 根肥 |

〔問題〕 5) 次の記述の症状を示す樹木の病名として、適切なものはどれか。

葉・若枝・果実などに黒褐色・褐色などの円形或不整形の病斑を生じ、病斑上に小黒点を形成することが多い。

- (1) うどんこ病
- (2) すず病
- (3) 炭そ病
- (4) てんぐ巣病

〔問題〕 6) 造園樹木に関する記述のうち、適当でないものはどれか。

- (1) ヒイラギナンテン、サカキは、日陰に耐える。
- (2) クロマツ、ハイビャクシンは、乾燥に強い。
- (3) アカマツ、ヒマラヤスギは、防火性が強い。
- (4) イチョウ、ヤブツバキは、剪定に耐える。

〔問題 7〕 ^{かだん}花壇に用いられる^{もち}春播き^{はるま}一年草^{いちねんそう}として、^{しゆ}2種^{がいたう}とも該当するものはどれか。

- (1) アネモネ、チューリップ
- (2) ニチニチソウ、マリーゴールド
- (3) スズラン、ジャーマンアイリス
- (4) パンジー、ヤグルマソウ

〔問題 8〕 ^{にほんしば}日本芝と^{せいようしば}西洋芝の^{いっぱんてき}一般的な^{せいしつ}性質に関する^{かん}記述^{きじゆつ}のうち、^{てきとう}適当でないものはどれか。

- (1) ^{にほんしば}日本芝は^{ふゆ}冬に^は葉が^か枯れて^{かつしよく}褐色になるが、^{せいようしば}西洋芝は^{ふゆ}冬も^{みどりいろ}緑色を保つ^{たも}ものが多い^{おお}。
- (2) ^{にほんしば}日本芝は^{かんそう}乾燥に^{つよ}強いが、^{せいようしば}西洋芝は^{にほんしば}日本芝よりも^{かんそう}乾燥に^{よわ}弱いものが多い^{おお}。
- (3) ^{にほんしば}日本芝は^{かぶだちがた}株立型により^{せいいく}生育するが、^{せいようしば}西洋芝は^{がた}ほふく型により^{せいいく}生育するものが多い^{おお}。
- (4) ^{にほんしば}日本芝は^{せいようしば}西洋芝に^{くら}比べ、^{こうおん}高温^{たしつ}多湿にも^{びやうがい}病害にも^{つよ}強いものが多い^{おお}。

〔問題 9〕 ^{つぎ}次の^{きじゆつ}記述の^{とくちやう}特徴を示す^{しめ}岩石の^{がんせき}種類として、^{しゆるい}適当なものはどれか。
^{かせいがん}火成岩に^{ぞく}属し、^{たいかせい}耐火性が^{ちい}小さい。主な^{おも}石材として、^{せきざい}稲田石、^{いなだいし}木曾石^{きそいし}がある。

- (1) ^{あんざんがん}安山岩
- (2) ^{かこうがん}花崗岩
- (3) ^{けっしょうへんがん}結晶片岩
- (4) ^{せつかいがん}石灰岩

〔問題 10〕 ^{ぞうえんじゆもく}造園樹木の^{うえつ}植付けに関する^{かん}記述^{きじゆつ}のうち、^{てきとう}適当でないものはどれか。

- (1) ^{うえあな}植穴の^{そこ}底は、^{うえつ}植付け後の^ご樹木を^{あんてい}安定させるため、^{ちゆうおう}中央を^{ふか}やや深めにし、^{つち}土を^{かた}固めておく。
- (2) ^えやむを得ず^か夏季に^{じやうりよく}常緑広葉樹の^{うえつ}植付けを行う^{おこな}場合は、^{ばあい}あらかじめ^{ねまわ}根回しをしておくこと^や、^{じやうざんよくせいざい}蒸散抑制剤を^{さんぶ}散布することなどの^{たいざく}対策を行う^{おこな}。
- (3) ^{うえつ}植付けを行う^{おこな}際には、^{すいぶん}水分の^{きやうきゆう}供給と^{じやうざん}蒸散の^{たも}バランスを保つため、^{しやう}枝葉の^{せんてい}剪定を行う^{おこな}。
- (4) ^{じやうりよく}常緑広葉樹の^{うえつ}植付けは、^{ほう}萌芽前の^{がまえ}早春と、^{そうしゆん}いったん^{てんかい}展開した^{しんよう}新葉が^{かた}固まった^{しょ}初夏の^か二つ^{ふた}の^{じき}時期が^{さいてき}最適である。

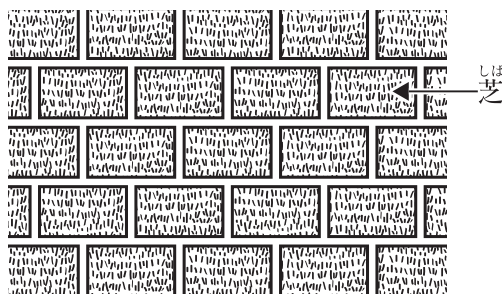
〔問題 11〕 植物の施肥に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 元肥は、樹木の生育に要する養分を植栽時、移植時や休眠期に施すもので、一般に速効性肥料が用いられる。
- (2) お礼肥は、花木類や果実類の開花・結実した後に、消耗した樹勢を回復させるために施すもので、一般に速効性肥料が用いられる。
- (3) 窒素肥料として用いられる硫酸（硫酸アンモニア）は、土をアルカリ性にする働きがある。
- (4) 肥料の葉面散布は、根に障害がある場合や、移植時に根の活着を早める場合などに行うことがある。

〔問題 12〕 秋期に剪定を行っても、翌年の開花に大きな支障がでない花木の組合せとして、**適当なもの**はどれか。

- (1) ジンチョウゲ、ドウダンツツジ
- (2) アジサイ、ハクモクレン
- (3) キンモクセイ、サルスベリ
- (4) サツキツツジ、ハナミズキ

〔問題 13〕 下図に示す張芝方法の名称として、**適当なもの**はどれか。



- (1) 互の目張り
- (2) 目地張り
- (3) 市松張り
- (4) 筋張り

〔問題 14〕 園路整備における「作業の内容」とその際に使用する「建設機械」の組合せとして、
適当でないものはどれか。

(作業の内容)

(建設機械)

- (1) 路床の掘削 ————— バックホウ
- (2) 路床の整形 ————— モーターグレーダ
- (3) 路盤材の締めかため ————— タイヤローラ
- (4) アスファルト混合物の敷均し ————— トラクタショベル

〔問題 15〕 運動施設に関する記述のうち、適当でないものはどれか。

- (1) 野球場の外野の排水勾配を、塁線から外周に向かってとった。
- (2) 硬式テニスコートの排水勾配を、一方のサイドラインから他方のサイドラインへ横方向にとった。
- (3) 陸上競技場のフィールドの排水勾配を、フィールドの中心から周辺に向かって均等にとった。
- (4) 陸上競技場のトラックの排水勾配を、走る方向への下りの傾斜で100分の1となるようにした。

〔問題 16〕 遊具の設置に関する次の記述の(A)、(B)に当てはまる数値の組合せとして、適当なものはどれか。

すべり台を設置するにあたり、着地面から減速部の終端上端部までの高さを(A) mmとした。

一方方向ぶらんこを設置するにあたり、着座部底面の最下点から着地面までの間隔(スイングクリアランス)を(B) mmとした。

(A) (B)

- (1) 250 ——— 250
- (2) 250 ——— 400
- (3) 400 ——— 250
- (4) 400 ——— 400

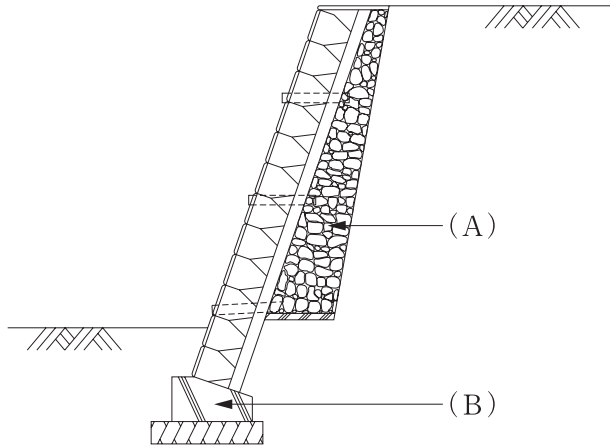
〔問題 17〕 7,200 m³ の盛土（締固め土量）をする場合、現地に運搬すべき土量（ほぐし土量）として、正しいものはどれか。
ただし、土量変化率は、 $L = 1.2$ 、 $C = 0.9$ とする。

- (1) 5,400 m³
- (2) 8,000 m³
- (3) 8,640 m³
- (4) 9,600 m³

〔問題 18〕 コンクリートに関する記述のうち、適当でないものはどれか。

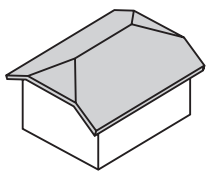
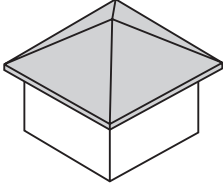
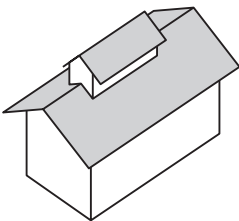
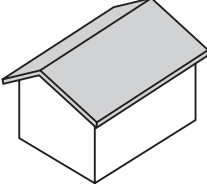
- (1) スランプとは、フレッシュコンクリートの軟らかさの程度を示す指標の一つである。
- (2) ブリーディングとは、フレッシュコンクリートの打設後、練混ぜ水の一部が遊離し、コンクリート表面に上昇する現象のことである。
- (3) コンクリートの強度は、一般に材齢28日における圧縮強度を基準とする。
- (4) 鉄筋コンクリートは、コンクリートと鉄筋が一体となった複合材料であり、引張りに対してはコンクリートが、圧縮に対しては鉄筋が抵抗する。

〔問題 19〕 か ず しめ ねり づ 下図に示す練積みによるブロック積擁壁の (A)、(B) の名称の組合せとして、めいしょう くみあわ 適切な できとう ものはどれか。







- | | (A) | (B) |
|-----|-----------------------------|-----------------------------|
| (1) | <small>どう こ ざい</small> 胴込め材 | <small>なら</small> 均しコンクリート |
| (2) | <small>どう こ ざい</small> 胴込め材 | <small>き そ</small> 基礎コンクリート |
| (3) | <small>うら こ ざい</small> 裏込め材 | <small>なら</small> 均しコンクリート |
| (4) | <small>うら こ ざい</small> 裏込め材 | <small>き そ</small> 基礎コンクリート |

〔問題 20〕 屋根の「形状」とその「名称」の組合せとして、**適当でないものはどれか。**

- | | けいじょう
(形状) | めいしょう
(名称) |
|-----|--|--------------------|
| (1) |  | —— 入りもややね
入母屋屋根 |
| (2) |  | —— ほうぎょうやね
方形屋根 |
| (3) |  | —— こしやね
越屋根 |
| (4) |  | —— きりづまやね
切妻屋根 |

〔問題 21〕 電気設備設計図に用いられる一般的な「記号」とその「名称」の組合せとして、**適当でないものはどれか。**

- | | きごう
(記号) | めいしょう
(名称) |
|-----|---|--|
| (1) |  | —— じゅでんでん
受電点 |
| (2) |  | —— スピーカ |
| (3) |  | —— まいせつひょう ちちゅうせん
埋設標 (地中線・コンクリート製) |
| (4) |  | —— おくがいとう
屋外灯 |

〔問題 22〕 給水工事に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 給水管の埋戻しの際、良質な土砂を用い、沈下等が発生しないようにタンパで十分に締め固めた。
- (2) 凍結のおそれがある場所で、凍結深度より深く給水管を布設した。
- (3) 給水管を他の埋設管と近接して布設する際、間隔を20 cmとした。
- (4) 電食のおそれがある場所に、硬質ポリ塩化ビニル管の給水管を布設した。

〔問題 23〕 「公共工事標準請負契約約款」に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 受注者は、工事材料の品質について設計図書に明示されていない場合、上等の品質を有するものを使用しなければならない。
- (2) 監督員は、支給材料又は貸与品の引渡しに当たっては、受注者の立会いの上、発注者の負担において、当該支給材料又は貸与品を検査しなければならない。
- (3) 受注者は、工事の施工に当たり、設計図書に誤りがあることを発見したときは、直ちに監督員に通知しなければならない。
- (4) 発注者又は受注者は、特別な要因により工期内に主要な工事材料の国内における価格に著しい変動を生じ、請負代金額が不適當となったときは、請負代金額の変更を請求することができる。

〔問題 24〕 施工計画に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 仮設備計画には、仮設備の設置と維持に加え、撤去と跡片付けについての計画も含まれる。
- (2) 労務計画には、作業員の安全管理活動についての計画が含まれる。
- (3) 資材計画には、材料の必要数量、納期、調達先と調達価格についての計画が含まれる。
- (4) 環境保全計画には、工事用車両による沿道障害の防止対策が含まれる。

〔問題 25〕 人力による床掘り作業に関する次の(イ)、(ロ)の記述について、5日間以内に完了することが「可能」、または「不可能」の組合せとして、正しいものはどれか。
ただし、歩掛は、 10 m^3 あたり4人・日とする。

(イ) 床掘量 23 m^3 を2人で施工する。

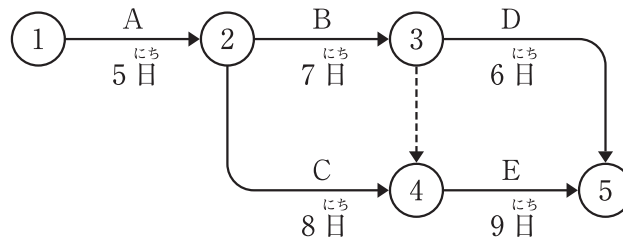
(ロ) 床掘量 39 m^3 を3人で施工する。

- | | | | |
|-----|-----|-----|-----|
| | (イ) | | (ロ) |
| (1) | 可能 | ——— | 可能 |
| (2) | 可能 | ——— | 不可能 |
| (3) | 不可能 | ——— | 可能 |
| (4) | 不可能 | ——— | 不可能 |

〔問題 26〕 経済的な工程計画を作成する場合の一般的な留意事項に関する記述のうち、適切なものはどれか。

- (1) 工期内の作業可能日の算定に当たっては、工期の暦日の日数から、定休日、天候その他に基づく作業不能日数を差し引いて推定すること。
- (2) 施工用機械設備や工具を反復使用するとともに、施工の段取り待ちなどの時間的余裕をできるだけ確保すること。
- (3) 工事の採算性を考え、作業員、資材などを大量に投入し、工期を最大限短くするような工程計画とすること。
- (4) 手持ち資材の確保状況などに左右されず、発注者が設定した工期を最適工期と捉えた工程計画とすること。

- 〔問題 27〕 下図に示すネットワーク式工程表で表される工事において、Cの作業日数を短縮して6日にした場合、全体工期は何日短縮されるか。
ただし、図中のイベント間のA～Eは作業内容を、日数は作業日数を表す。



- (1) 0日
(2) 1日
(3) 2日
(4) 3日
- 〔問題 28〕 「公共用緑化樹木等品質寸法規格基準 (案)」の用語に関する次の記述の(A)、(B)に当てはまる語句の組合せとして、**適当なものはどれか。**

「枝張とは、四方面に伸長した枝の幅をいう。測定方向により幅に長短がある場合は、(A)とする。

幹周とは、幹の周長をいい、根鉢の上端より (B) m 上がりの位置を測定する。」

- | | (A) | (B) |
|-----|-----------|-----|
| (1) | 最長の値 | 1.2 |
| (2) | 最長の値 | 1.5 |
| (3) | 最長と最短の平均値 | 1.2 |
| (4) | 最長と最短の平均値 | 1.5 |

〔問題 29〕 ^{かひょう} 下表は「^{こうしゅ}工種」、^{ひんしつとくせい}「品質特性」、^{しけんほうほう}「試験方法」の組合せを示したものである。^{ひょう}表の(A)～(C)に当てはまる語句の組合せとして、**適当なもの**はどれか。

	工種	品質特性	試験方法
(イ)	(A)	圧縮強度	圧縮強度試験
(ロ)	アスファルト舗装工	(B)	ふるい分け試験
(ハ)	土工	自然含水比	(C)

- (A) (B) (C)
- (1) コンクリート工 —— 粒度 —— 含水比試験
- (2) 路盤工 —— 密度 —— 含水比試験
- (3) コンクリート工 —— 密度 —— 透水試験
- (4) 路盤工 —— 粒度 —— 透水試験

〔問題 30〕 ^{けんせつこうじ} 建設工事の事故発生時に ^{じこはっせいじ} 適切な ^{てきせつ} 初動措置を ^{しょどう} 行うために、^{おこな} 一般的に ^{いっぱんてき} 工事現場で ^{こうじげんば} 講じておくべき措置に関する次の(イ)、(ロ)の記述について、^{ただ}正しいものは「正」、^{あやま}誤っているものは「誤」として、**適当な組合せ**はどれか。

- (イ) 産業医を選任し、労働者の健康管理を行わせること。
- (ロ) 関係機関との通報方法の相互確認などの体制を平素から明確にしておくこと。

- (イ) (ロ)
- (1) 正 —— 正
- (2) 正 —— 誤
- (3) 誤 —— 正
- (4) 誤 —— 誤

〔問題 31〕 移動はしごを用いた作業に関する記述のうち、安全管理上、**適当でないものはどれか。**

- (1) 作業床に立て掛ける際に、はしごの上端を作業床から70 cm突出するようにした。
- (2) はしごは、幅30 cmで、損傷や腐食がなく丈夫なものを、すべり止め装置を取り付けて用いた。
- (3) やむを得ず、はしごを継いで用いなければならなかったため、接続部を1.0 m重ね合わせて堅固に固定して用いた。
- (4) はしごは、踏み棧が35 cmの等間隔に設けられているものを用いた。

〔問題 32〕 高所作業車を用いた高木剪定作業に関する記述のうち、「労働安全衛生法」上、**誤っているものはどれか。**

- (1) 乗車席及び作業床以外の箇所に、労働者を乗せることを禁止した。
- (2) 高所作業車を1か月にわたり継続して使用する作業に当たって、1週間に1回の頻度で制動装置、操作装置及び作業装置の機能について点検を行った。
- (3) 作業床の高さが11 mの高所作業車の運転に、高所作業車運転技能講習を修了した者を就かせた。
- (4) 作業床以外の箇所で作業床を操作する際に、作業床上の労働者との連絡を確実にするため、一定の合図を定め、合図を行う者を指名した。

〔問題 33〕 「都市公園法」上、公園施設として都市公園に設けることができないものはどれか。

- (1) 記念碑
- (2) 水族館
- (3) 展望台
- (4) 仮設住宅

〔問題 34〕 公共工事を発注者から直接請負った建設業者が、当該工事を施工するために下請契約をした場合に、請負業者が、請け負った建設工事について、施工体制台帳に記載しなければならない事項として、「建設業法」上、規定されていないものはどれか。

- (1) 主任技術者又は監理技術者の氏名
- (2) 請負代金の額
- (3) 下請負人に係る建設工事の内容
- (4) 下請負人の健康保険等の加入状況

〔問題 35〕 「労働基準法」に関する次の記述の(A)、(B)に当てはまる数値の組合せとして、正しいものはどれか。

使用者は、労働時間が(A)時間を超える場合においては少なくとも45分、(B)時間を超える場合においては少なくとも1時間の休憩時間を労働時間の途中に与えなければならない。

- (A) (B)
- (1) 4 ——— 7
 - (2) 6 ——— 7
 - (3) 4 ——— 8
 - (4) 6 ——— 8

〔問題 36〕 「労働安全衛生法」上、事業者が作業主任者を選任する必要のない作業はどれか。

- (1) 掘削面の高さが3mの地山の掘削
- (2) 高さが5mの構造の足場の組立て
- (3) 吊り上げ荷重が2.9tの移動式クレーンの運転
- (4) 建築物の鉄骨で高さが5mのものの組立て

問題 37～40 は施工管理法 (基礎的な能力) の問題です。正解番号を全てぬりつぶしてください。

次に示す〔工事数量表〕及び〔工事に係る条件〕に基づく造園工事の施工管理に関して、以下の問題 37～40 について答えなさい。

〔工事数量表〕

工種	種別	細別	規格			単位	数量	備考
植栽工	高木植栽工	ソメイヨシノ	H (m) 4.0	C (m) 0.21	W (m) 1.8	ほん本	10	二脚鳥居型支柱 (添木付き)
	地被類植栽工	ノシバ	36 cm × 28 cm × 10 枚			m ²	1,800	目地張り
移植工	高木移植工	ヤマザクラ	H (m) 7.0	C (m) 0.60	W (m) 4.0	ほん本	10	八ツ掛支柱 (丸太三本)
	根回し工	ケヤキ	H (m) 6.0	C (m) 0.40	W (m) 3.0	ほん本	8	みぞほり式根回し
園路広場整備工	作業土工	掘削	—			m ³	300	運搬を含む
	アスファルト舗装工	公園アスファルト舗装	—			m ²	100	
公園施設等撤去・移設工	公園施設等撤去工	公園施設撤去	プラスチック製複合遊具			き基	1	
			あずまや四阿			き基	1	木製ベンチを含む

〔工事に係る条件〕

- 本工事は関東地方の近隣公園の未供用区域において、上記の工事数量表に基づき施工するものである。
- 高木移植工のヤマザクラは、供用区域内から移植するものであり、前年に根回し済みである。
- ケヤキは、園内の他の場所へ移植するための根回しを行う。
- 公園アスファルト舗装を行う園路部分について、作業土工において表層部分をすき取って、工事区域外に搬出する。
- 公園施設撤去工は、芝生広場内のプラスチック製複合遊具及びあずまや四阿を撤去する。
- 工期は、9月10日から翌年の3月10日までとする。

〔問題 37〕 本工^{ほんこう}事^じのヤマザクラの移^い植^{しょくこう}工^{こう}における植^{うえ}付^つけ及^{およ}び支^し柱^{ちゆう}の取^{とり}付^つけに關^{かん}する記^き述^{じゆつ}のうち、適^{てきとう}当^{とう}な物^{ぶつ}を全^{すべ}て選^{えら}びなさい。

- (1) 根^ね鉢^{ぱち}に土^{つち}が十^{じゅう}分^{ぶん}密^み着^{ちやく}するよう、水^{みず}を注^{そそ}ぎ鉢^{ぱち}の周^{まわ}りの土^{つち}を棒^{ぼう}で突^つきながら埋^うめ戻^{もど}すことを数^{すう}回^{かい}繰^{かえ}り返^{かえ}して植^うえ付^つけた。
- (2) 根^ね鉢^{ぱち}を埋^うめ戻^{もど}した後^{あと}に、水^{みず}が根^ね鉢^{ぱち}に集^{あつ}まりやすくなるよう、水^{みず}鉢^{ぱち}を切^きって灌^{かん}水^{すい}を行^{おこな}った。
- (3) 支^し柱^{ちゆう}には丸^{まる}太^たを用^{もち}い、元^{もと}口^{くち}を下^{した}にして使^{つか}った。
- (4) 幹^{みき}と支^し柱^{ちゆう}の取^{とり}付^つけ部^ぶは、幹^{みき}に杉^{すぎ}皮^{かわ}を巻^まき、鉄^{てつ}線^{せん}を用^{もち}いて結^{けつ}束^{そく}した。

〔問題 38〕 本工^{ほんこう}事^じのケヤキに対^{たい}して行^{おこな}った根^ね回^{まわ}し工^{こう}に關^{かん}する記^き述^{じゆつ}のうち、適^{てきとう}当^{とう}な物^{ぶつ}を全^{すべ}て選^{えら}びなさい。

- (1) 根^ね回^{まわ}しを樹^{じゆ}木^{もく}の休^{きゅう}眠^{みん}期^きである1月^{がつ}に行^{おこな}った。
- (2) 根^ね回^{まわ}しを行^{おこな}う根^ね鉢^{ぱち}の直^{ちよ}径^{けい}は、根^ね元^{もと}直^{ちよ}径^{けい}の2倍^{ばい}とした。
- (3) 環^{かん}状^{じょう}はく皮^ひを行^{おこな}う太^{ふと}根^ねを残^{のこ}して、他^たの根^ねは根^ね鉢^{ぱち}に沿^そって切^{せつ}断^{だん}した。
- (4) 残^{のこ}した太^{ふと}根^ねに、根^ね鉢^{ぱち}に沿^そって、15 cmの幅^{はば}で環^{かん}状^{じょう}はく皮^ひを行^{おこな}った。

〔問題 39〕 本工^{ほんこう}事^じにおいて発^{はっ}生^{せい}した次^{つぎ}の建^{けん}設^{せつ}副^{ふく}産^{さん}物^{ぶつ}のうち、「廃^{はい}棄^き物^{ぶつ}の処^{しゆ}理^り及^{およ}び清^{せい}掃^{そう}に關^{かん}する法律^{ほうりつ}」に規^{きてい}定^{てい}する産^{さん}業^{ぎやう}廃^{はい}棄^き物^{ぶつ}に該^{がい}当^{とう}する物^{ぶつ}を全^{すべ}て選^{えら}びなさい。

- (1) 四^あ阿^まの基^き礎^その撤^{てつきよ}去^とに伴^{ともな}い生^{しょう}じたコンクリート破^は片^{へん}
- (2) 園^{えん}路^ろの造^{ぞう}成^{せい}に伴^{ともな}い生^{しょう}じた建^{けん}設^{せつ}発^{はっ}生^{せい}土^ど
- (3) 遊^{ゆう}具^ぐの撤^{てつきよ}去^とに伴^{ともな}い生^{しょう}じた廃^{はい}プラ^{ぷら}スチ^{すち}ック類^{るい}
- (4) 木^{もく}製^{せい}ベンチの撤^{てつきよ}去^とに伴^{ともな}い生^{しょう}じた木^きくず

〔問題 40〕 ほんこうじ 本工事で使用するため現場に搬入された しょくぶつざいりょう 植物材料について、「こうきょうようりよくかじゅもくとうひん 公共用緑化樹木等品 しつすんぼうきかくきじゅんあん 質寸法規規格基準（案）」に基づき ひんしつきかくはんてい 品質規格を判定した結果として、てきとう 適当なものを全て選 すべえら びなさい。

- (1) ソメイヨシノについて、は 葉にしおれや衰弱が見られたが、しやうはいぶん 枝葉の配分が四方に均等であることから、ごうかく 合格とした。
- (2) ソメイヨシノについて、じゅひいちぶ 樹皮の一部に損傷の痕跡があったが、その痕跡がほとんど目立たず、せいじょうじょうたい 正常な状態を保っていたため、ごうかく 合格とした。
- (3) ノシバについて、かんそうつち 乾燥し土くずれしていたが、ねへいきん 根は平均に張っていたため、ごうかく 合格とした。
- (4) ノシバについて、せいじょうようけい 正常な葉形、ようしよく 葉色を保ち、はぜんたい 葉が全体に均一に密生していたが、ねざわ 根際に枯れ葉が堆積していたため、ふごうかく 不合格とした。